



第17期中間報告書

2019年4月1日▶2019年9月30日

サクサ ホールディングス 株式会社

証券コード 6675



代表取締役社長 松尾 直樹

株主の皆様には、平素よりサクサグループに対しまして、格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済は、米中の通商政策に基づく貿易摩擦による世界経済の不確実性や消費税増税に伴う個人消費等への影響が懸念されるなど、依然不透明な状況が続いています。

このような経済環境の中で、当企業グループは、「持続成長可能な事業への転換」および「あるべき姿に向けた収益構造への変革」を基本方針とし、基本方針実現に向け「事業構造の再構築」および「経営基盤の強化」の諸施策に継続して取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、オフィス向けキーテレホン市場の想定以上の減速に伴う「OEMを含むキーテレホンシステム」の受注減少はありましたが、特定分野に注力した「システムインテグレーション事業」の受注増加ならびに消費税法等の改正に伴う「アミューズメント市場向けのカードシステムおよび加工受託している部品」の受注増加などにより18,955百万円(前年同期比1,053百万円増加)となりました。

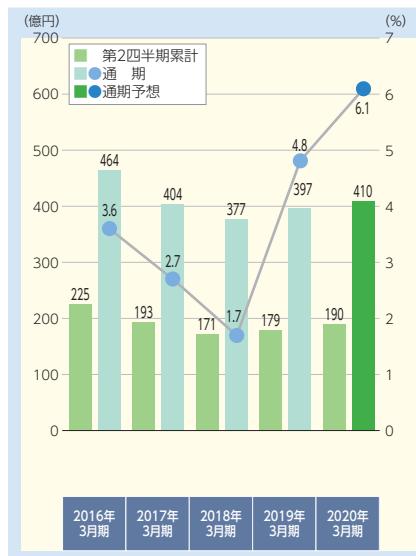
利益面では、前連結会計年度に発生した不適切な会計処理に関する調査費用等で販売費及び一般管理費が増加しましたが、売上の増加に伴う利益の増加等で経常利益が672百万円(前年同期比119百万円増加)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、484百万円(前年同期比203百万円増加)となりました。

なお、中期経営計画で掲げた「集中事業」および「新規事業」の売上高を合算した売上高構成比率の目標値30.0%(2020年3月期)に対して、当第2四半期連結累計期間の売上高構成比率は、24.5%(前年同期比3.8%増加)となりました。

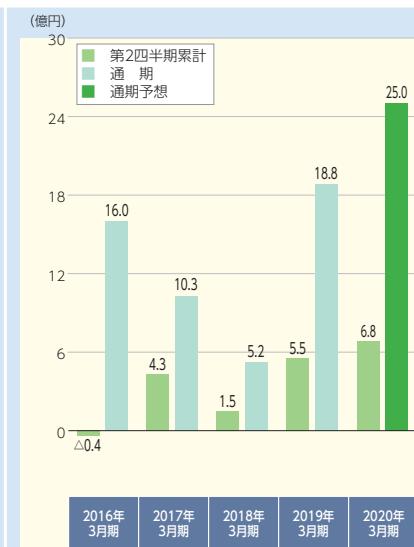
今後とも株主の皆様のご期待にお応えするため、なお一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご支援、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

■売上高(左目盛) ●売上高経常利益率(右目盛)



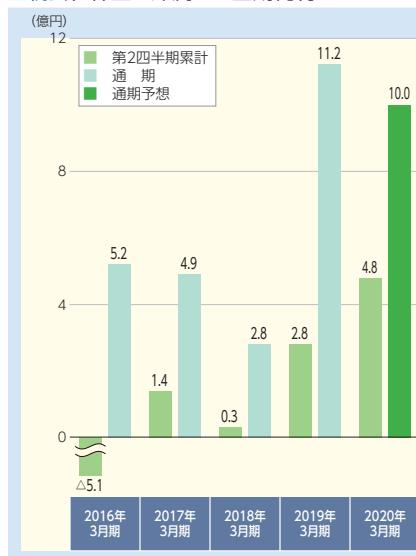
■営業利益



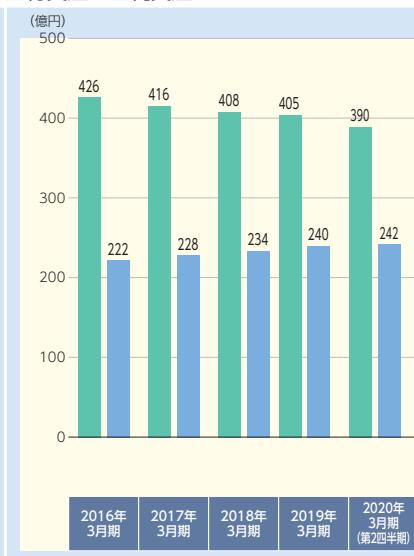
■経常利益



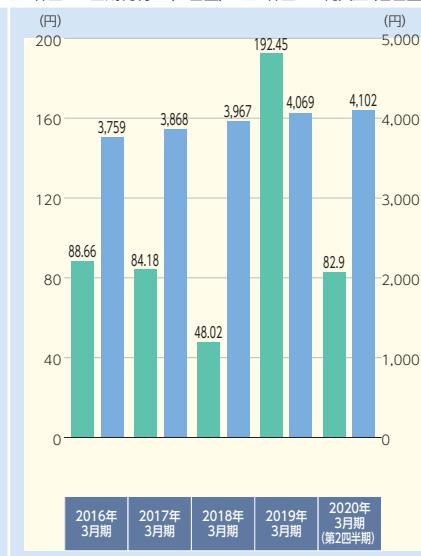
■親会社株主に帰属する当期純利益



■総資産 ■純資産



■1株当たり当期純利益(左目盛) ■1株当たり純資産(右目盛)

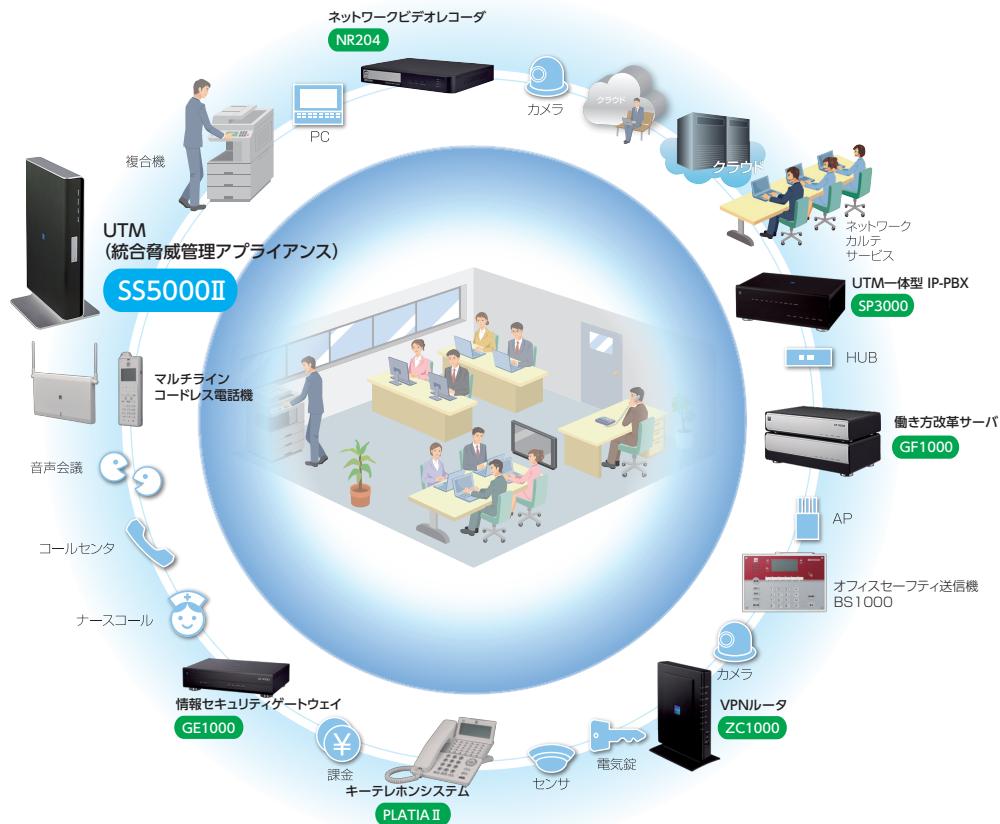


※ グラフの数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

ビジネスにさらに安心をもたらす強力なUTM「SS5000II」を発売開始

～SS5000シリーズに新サービス追加、さらに機能強化～

サクサ株式会社は、中小規模オフィス向け UTM(統合脅威管理アプライアンス)「SS5000」シリーズに新たなサービス、機能を追加した、「SS5000II」シリーズの発売を9月から開始いたしました。「SS5000II」シリーズでは、ウイルス駆除サービスの対象機種を全ラインアップへ拡大するとともに、万が一リモートでウイルス駆除できない場合でも、現地訪問し、対応いたします。(離島除く)



Office AGENT

サクサの「Office AGENT」シリーズは、サクサが情報システム部門のない中小規模オフィス向けにご提供する、オフィス運営代理人システムです。サクサのオフィスソリューション提供ノウハウを集結し、ネットワーク商材を連携させることで、お客様の「お困りごと」をスピーディに解決いたします。

新たに強化された主な特長

(1) サクサ見える化サイト

現行の「サクサ UTM 見える化ツール」を各種グラフなどの視認性をアップするとともに、黒を基調とした高級感ある画面デザインへ刷新し、お客様が見やすく、ご利用いただきやすいよう変更しました。

(2) C&C サーバ検知+通知機能

PCがC&Cサーバと通信するマルウェア等に感染した場合、C&Cサーバとの通信をブロックするとともに、登録したメールアドレスへ警告メールを通知します。
※C&Cサーバ：不正なプログラムが仕込まれたPCに対し、個人情報の抜き取りや他のネットワークに対してDoS攻撃など命令を行う悪意あるサーバ。



(3) セキュリティ強化(GE1000 連携)

情報セキュリティゲートウェイ「GE1000」と連携することで、社内ネットワークで異常な通信をしているPCを検出し、ネットワークから隔離することができるので、万が一外出先でPCがウイルス感染してしまってもウイルスの拡散（メールばら撒き）や、外部サーバへの感染ファイル転送を未然に防ぐことができます。また、当該PCの情報が管理者にメールで通知されるので、どのPCが危険な状態なのかが一目でわかります。

フレキシブル印刷エレクトロニクスで世界トップクラスの山形大学と連携、共同研究を開始

サクサ株式会社は、国立大学法人山形大学(学長：小山清人、以下「山形大学」という。)と連携し、R&Dの取組みとして、フレキシブル印刷エレクトロニクス技術開発における共同研究を開始しております。サクサはこの山形大学との産学連携を通してフレキシブル印刷エレクトロニクスの開発・生産技術を習得し、「物流」「ヘルスケア」「オフィス・住宅」など様々な分野に応用可能な次世代技術の蓄積を目指しており、現在、山形大学とサクサの取組みとして、文部科学省の「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」では、作業現場における作業者の体調の把握など健康管理の課題に対して共同研究を行っています。

動画データのAI画像認識分野で北海道大学と連携、共同研究を開始 ～北海道大学との共同研究により新規性の高い動画像関連システムの開発を目指す～

株式会社システム・ケイは、サクサグループの映像事業拡大、新規事業創生を加速する新たな動画像システムを開発することを主眼に、2019年9月から国立大学法人北海道大学(総長：名和豊春)と連携し、動画データのAI画像認識における共同研究を開始いたしました。近年では、高画質で利便性の高いネットワークカメラの市場が、アナログカメラからの移行もあり拡大しています。蓄積した動画データに対しAI画像認識を用いることで、様々な分野での利用と継続的な成長が期待されています。本研究では、企業と大学が連携して、それぞれが持つ独創的な技術および発想を融合し、革新的な研究開発を行うことを目指しています。

四半期連結財務諸表(要約)

●四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前期末 (2019年3月期)	当第2四半期末 (2020年3月期)
(資産の部)		
流動資産	23,392	21,879
固定資産	17,155	17,088
有形固定資産	9,205	9,150
無形固定資産	2,333	2,290
投資その他の資産	5,615	5,647
資産合計	40,547	38,968
(負債の部)		
流動負債	11,107	9,801
固定負債	5,478	5,012
負債合計	16,585	14,813
(純資産の部)		
株主資本	22,891	23,082
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,023	6,023
利益剰余金	7,279	7,471
自己株式	△1,247	△1,248
その他の包括利益累計額	874	876
非支配株主持分	196	195
純資産合計	23,961	24,154
負債純資産合計	40,547	38,968

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (2019年3月期)	当第2四半期累計 (2020年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,170	809
投資活動によるキャッシュ・フロー	△791	△659
財務活動によるキャッシュ・フロー	△771	△733
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△392	△583
現金及び現金同等物の期首残高	7,821	7,199
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,428	6,616

※P5に記載の数値については、表示単位未満を切り捨てております。

●四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (2019年3月期)	当第2四半期累計 (2020年3月期)
売上高	17,902	18,955
売上原価	12,908	13,676
売上総利益	4,994	5,279
販売費及び一般管理費	4,440	4,596
営業利益	553	682
営業外収益	94	107
営業外費用	94	116
経常利益	553	672
特別利益	0	0
特別損失	83	1
税金等調整前四半期純利益	469	671
法人税等	190	183
四半期純利益	279	488
非支配株主に帰属する四半期純利益	△2	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	281	484

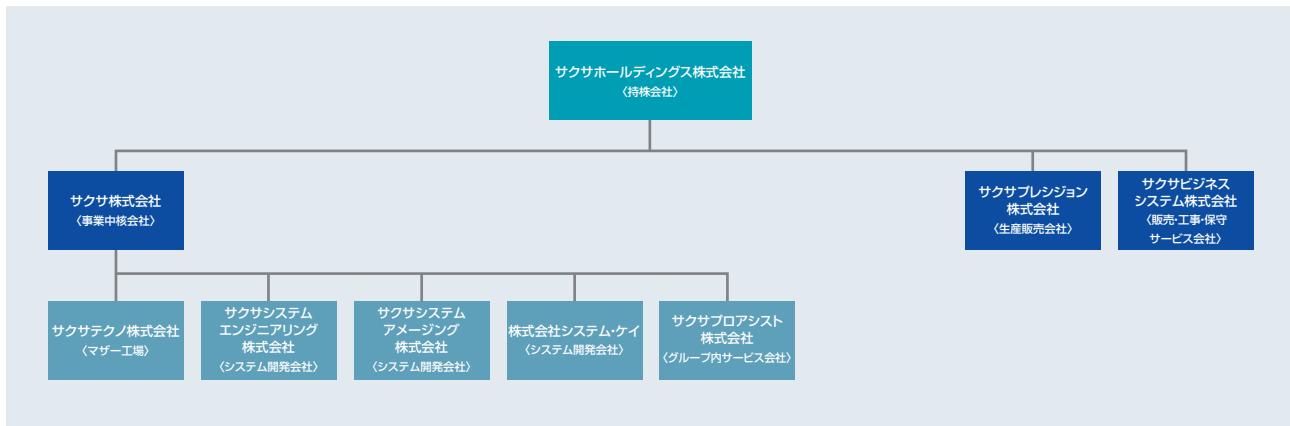
●四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (2019年3月期)	当第2四半期累計 (2020年3月期)
四半期純利益	279	488
その他の包括利益	49	1
四半期包括利益	329	490

グループ会社および当社の概要 (2019年9月30日現在)

● サクサグループ(9社)



● サクサ ホールディングス株式会社

設立年月日 2004年2月2日

資本金 10,836,678,400円

従業員数 1,168名(連結)、29名(単独)

本社 東京都港区白金一丁目17番3号 NBFプラチナタワー

事業内容 情報通信システムの機器および部品の開発、製造および販売を主として行う子会社の経営管理等

取締役および監査役

代表取締役社長	松尾 直樹	取締役	曾我部 敦	常勤監査役	江藤 進
代表取締役副社長	磯野 文久	取締役	丸井 武士	監査役	梅津 光男
常務取締役	大坂 貢	取締役	山本 秀男	監査役	飯森 賢二
取締役	中村 耕児	取締役	片桐 勇一郎	監査役	清水 建成
取締役	井上 洋一	取締役	竹内 佐和子		

※1. 山本秀男、片桐勇一郎および竹内佐和子の3氏は、社外取締役であります。また、山本秀男および竹内佐和子の両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

※2. 飯森賢二および清水建成の両氏は、社外監査役であります。また、両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

株式の状況

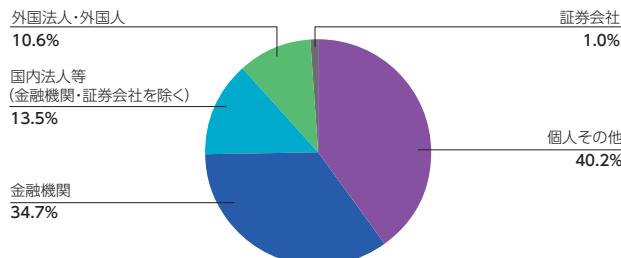
- 発行可能株式総数 24,000,000株
- 発行済株式の総数 6,244,962株
- 株主数 5,385名

大株主

株主名	持株数	持株比率
沖電気工業株式会社	814千株	13.9%
株式会社グローセル(旧: 株式会社ルネサスイーストン)	236千株	4.0%
株式会社みずほ銀行	233千株	4.0%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	197千株	3.4%
株式会社三井住友銀行	176千株	3.0%
水元 公仁	169千株	2.9%
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	168千株	2.9%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	149千株	2.6%
サクサグループ従業員持株会	101千株	1.7%
株式会社三菱UFJ銀行	95千株	1.6%

- ※1. 当社は、自己株式403千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
- ※2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。
- ※3. 沖電気工業株式会社の持株数には、沖電気工業株式会社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式605千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 沖電気工業口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)
- ※4. 株式会社みずほ銀行の持株数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式177千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)
- ※5. 持株数については、表示単位未満を切り捨て、持株比率については、表示単位未満を四捨五入しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
期末配当の基準日	3月31日	
定時株主総会	6月	
基準日	3月31日 その他、必要があるときは、あらかじめ公告して定める日とします。	
公告掲載URL	https://www.saxa.co.jp/ ※ 当社の公告の方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
郵便物送付先	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部	
各種手続お取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)	
未払配当金のお支払	お取引の証券会社等になります。 みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店	
ご注意	みずほ信託銀行 みずほ銀行	本店および全国各支店 本店および全国各支店 特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。
	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	